

仙台講演会「仙台から新しいIT産業の創出へ」

NECのイノベーション、新たな成長事業の創出 ～ヘルスケア・ライフサイエンス事業成長に向けて～

2024年1月24日

北瀬聖光

NEC Corporate SVP 兼 ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門長

BIRD INITIATIVE 代表取締役

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

北瀬聖光 KITASE Masamitsu

NEC Corporate SVP

・ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門長

BIRD INITIATIVE代表取締役



カーブアウト 8 件

累計資金調達 110億円



経歴

事業部
営業

1993～2008

事業部
戦略スタッフ

2008～2013

コーポレート
事業開発

2014～2022

dotData, Inc.(米国)
取締役
2018～2023

BIRD INITIATIVE
代表取締役
2020～

ヘルスケア・
ライフサイエンス事業
2023～

- ・ 1993年 NEC入社
- ・ 大学・研究所の営業・事業開発
- ・ 世界初・日本初の技術実装から事業化へ

- ・ 文教・科学事業全体の戦略立案実行
- ・ ”小中学生に1人1台のデバイスを”
- ・ 不採算事業からの撤退、構造改革

- ・ 新事業開発・組織開発・人材開発を
総合的に推進
- 人事制度・評価制度・ガバナンスルールを革新

- ・ ヘルスケア・ライフサイエンスを
NECグループの将来事業の柱へ

アカデミア

大企業 × スタートアップ

Contents

- NECのイノベーション創出の体制
- 研究開発の強み
- グローバルNo.1技術による現事業への貢献
- 新たな成長事業の創出
- ヘルスケア・ライフサイエンス事業成長に向けて



NECのイノベーション創出の体制

NEC組織体制(2023年4月)

クロス
インダストリー
ビジネス
ユニット

DGDF
ビジネス
ユニット

パブリック
ビジネス
ユニット

エンタープライズ
ビジネス
ユニット

テレコムサービス
ビジネス
ユニット

エアロスペース・
ナショナル
セキュリティ
ビジネス
ユニット

デジタルプラットフォームビジネスユニット

グローバルイノベーションビジネスユニット

研究開発

×

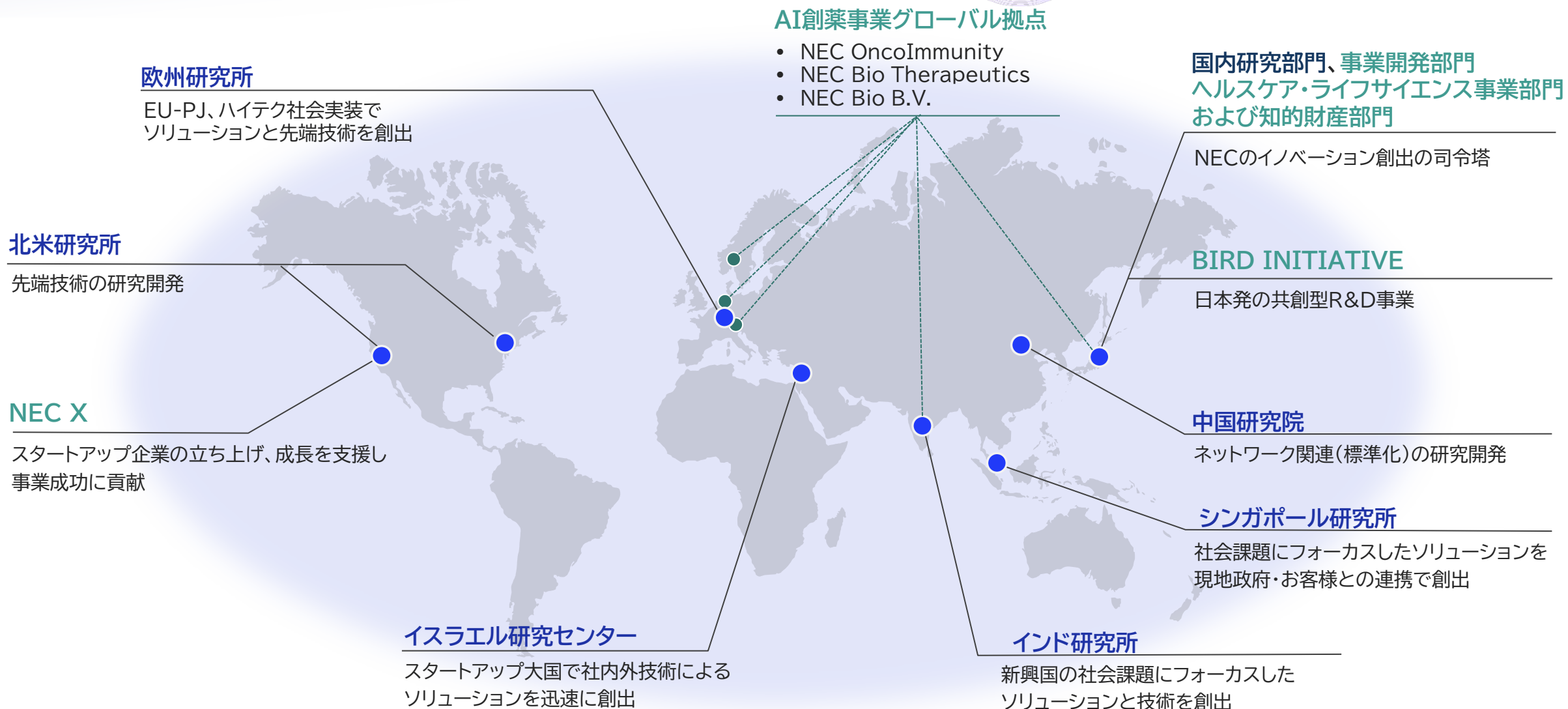
新事業開発

×

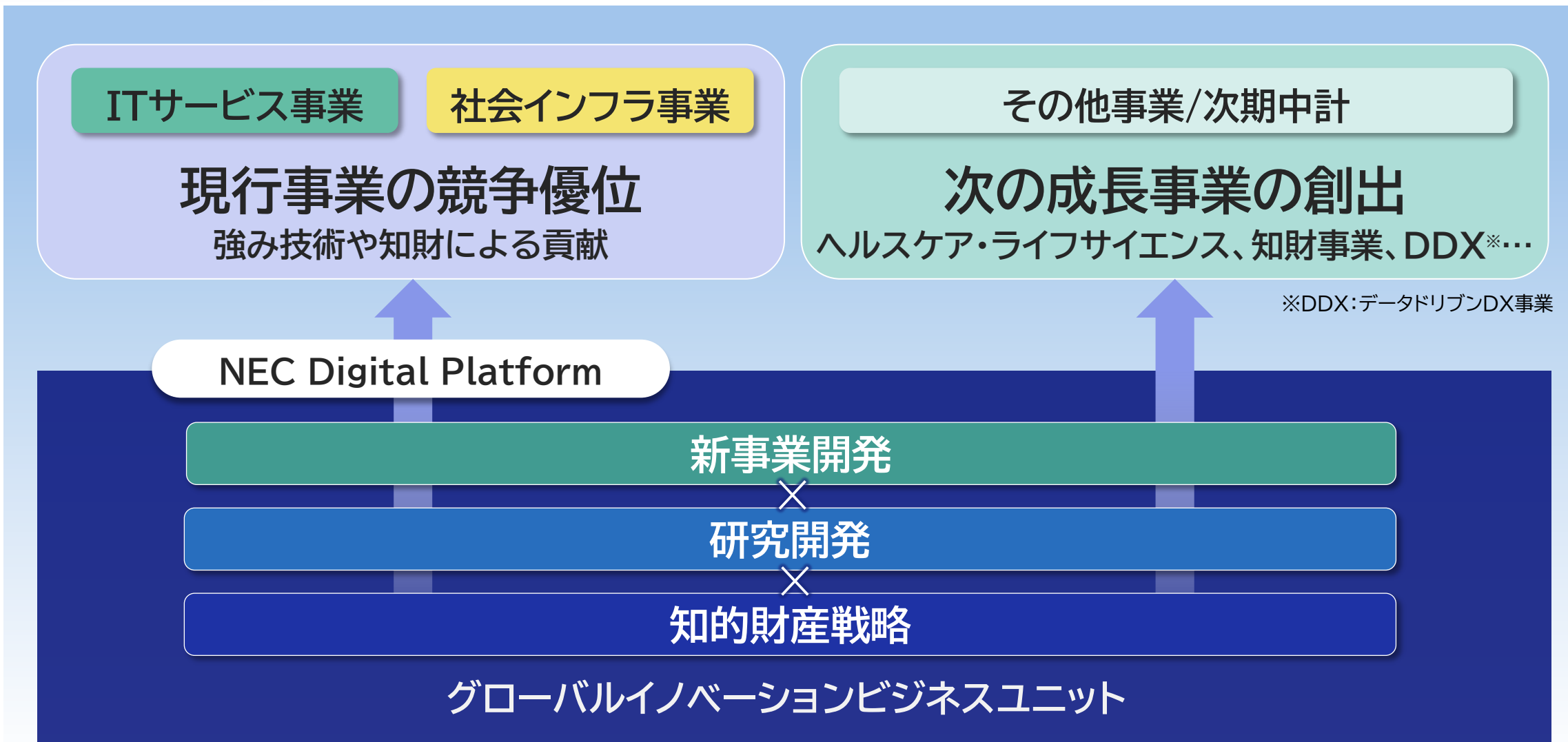
知的財産戦略

コーポレート

グローバルの強みを活かし研究開発と事業開発の機会を拡大

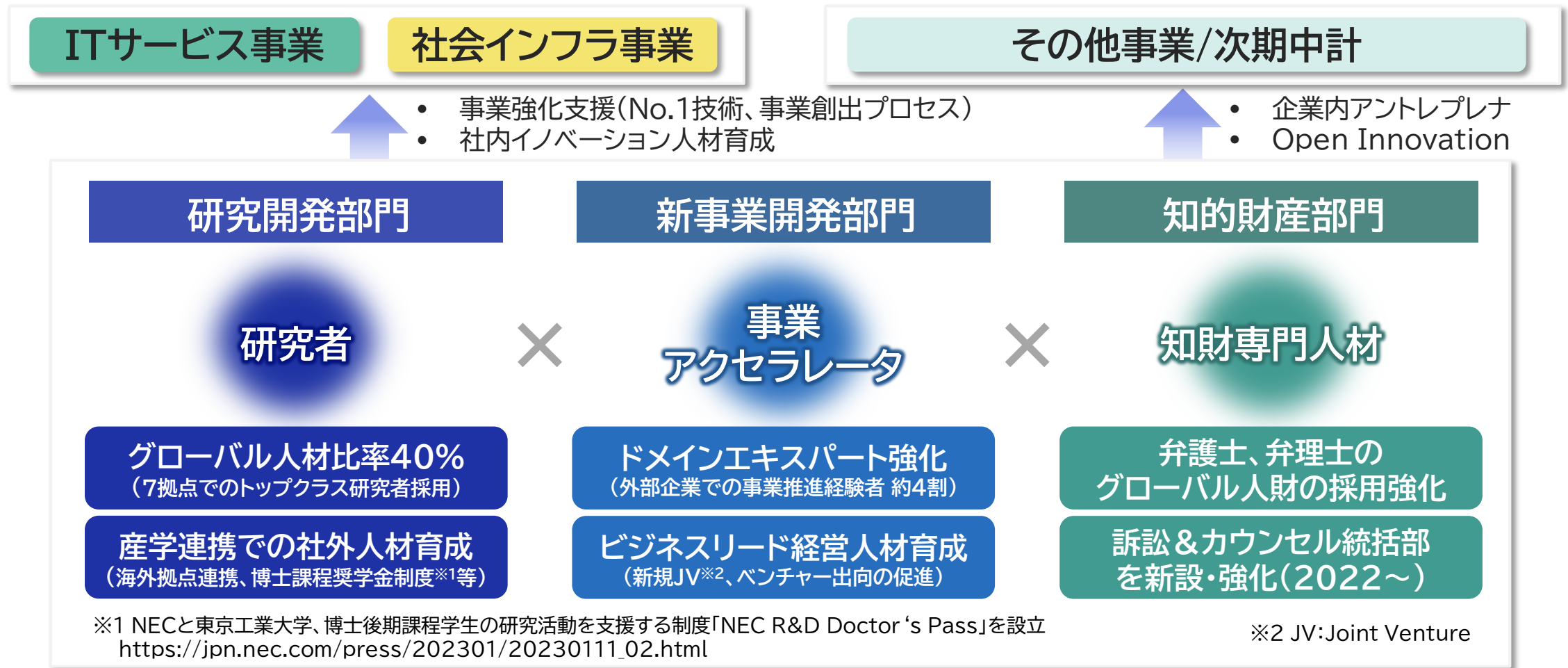


現行事業の競争優位と次の成長事業の創出を牽引



専門人材（研究、事業アクセラレータ、知財）を育成し全社に展開

2,000人規模の専門人材の集団、社内イノベーション人材も育成
自らNo.1技術とそれを核とする事業を創出しつつ、全社のイノベーションも支援





研究開発の強み

グローバルでの高い技術競争力

AI・セキュリティ・通信等において主要国際学会で網羅的に世界トップクラスの技術競争力を保有

AI

機械学習
難関国際学会※1 論文採択数
世界企業中10位

※1 以下の主要国際会議の集計
NeurIPS、ICML、ECML-PKDD、KDD、ICDM

映像・画像処理
難関国際学会※2 論文採択数
日本企業中1位

※2 以下の主要国際会議の集計
CVPR、ICCV、ECCV、ACCV、ICPR

セキュリティ

サイバーセキュリティ
山下記念研究賞、CSS2021ほか※3
論文賞を多数受賞

※3 セキュリティ: ACM CCS、Eurocrypt、IEEE S&P等

通信

光通信
難関学会※4 論文採択
46年連続

※4 通信: OFC/ECOC等

機械学習 2000-2022 当社調べ
難関学会採択ランキング (企業)

順位	企業名	文献数
1	Google	1363
2	Microsoft	1342
3	IBM	982
4	DeepMind	450
5	Meta Platforms	428
6	Yahoo	347
7	Alibaba	292
8	Amazon	274
9	Tencent	216
10	NEC	215

世界No.1の生体認証技術

顔、虹彩、指紋の生体認証で世界トップレベルの技術を継続保有
NIST※1が実施したベンチマークテストにおいて世界No.1評価を獲得

顔認証

世界No.1



FRVT (2019)

FIVE	(2017)
FRVT	(2013)
MBE	(2010)
MBGC	(2009)

同FRVT Ongoingでも2021/8※2と2022/1※3にNo.1を獲得

虹彩認証

世界No.1



IREX 10 (2022※4)

IREX 10	(2021)
IREX IX	(2018)
(Iris Exchange IX)	

指紋認証

世界No.1



MINEX	(2016,2006)
PFT/PFT II	(2013,2009)
FpVTE	(2012,2003)
SlapSeg	(2004)
ELFT	(2007)

※1 米国国立標準技術研究所(National Institute of Standards and Technology). NISTによる評価結果は米国政府による特定の製品、サービス、企業を推奨するものではありません。

※2 FRVT Ongoing 1:N Identification (2021Aug) の Leaderboard [Identification (T>0)] における Gallery: Mugshot, Probe: Mugshot, N=12000000 と Gallery: Border, Probe: Border $\Delta T \geq 10YRS$, N=1600000 の2カテゴリでNo.1を獲得

※3 FRVT Ongoing 1:N Identification (2022Jan) の Leaderboard [Identification (T>0)] における Gallery: Mugshot, Probe: Mugshot, N=12000000 と Gallery: Border, Probe: Mugshot $\Delta T \geq 12YRS$, N=3000000 の3カテゴリでNo.1を獲得

※4 IREX 10: Identification Track(2022Sep)の、Two-eye Accuracy、Single-eye Accuracy、Rank Accuracyの3カテゴリでNo.1を獲得

各種のAI研究開発を支えるAIスーパーコンピュータに継続して設備投資

国内企業では最大規模のGPU数を搭載したAIスパコンを 2023年3月に全面稼働
NEC LLM等の生成AI技術群のスピーディな研究開発を実現、タイムリーに事業移管し市場投入

AIスパコン構築と運用には、信頼性の確保、性能を引き出すミドルウェア、運用ソフトウェア等が必要
NECでは研究者を投入し、約2年をかけて構築

AIスパコンの規模

GPU規模 **928基**

演算能力 **580 PFLOPS**





グローバルNo.1技術による現事業への貢献

第一世代AI

探索

第二世代AI

記号論理

第三世代AI

機械学習

新しい世代のAI

ファウンデーションモデル
(大規模言語モデル含む)

AIは今、
ファウンデーションモデルの時代へ

インターネットと同様、AIのファウンデーションモデルは社会を大きく変革 誰もが容易にAIを構築可能に

インターネットの登場

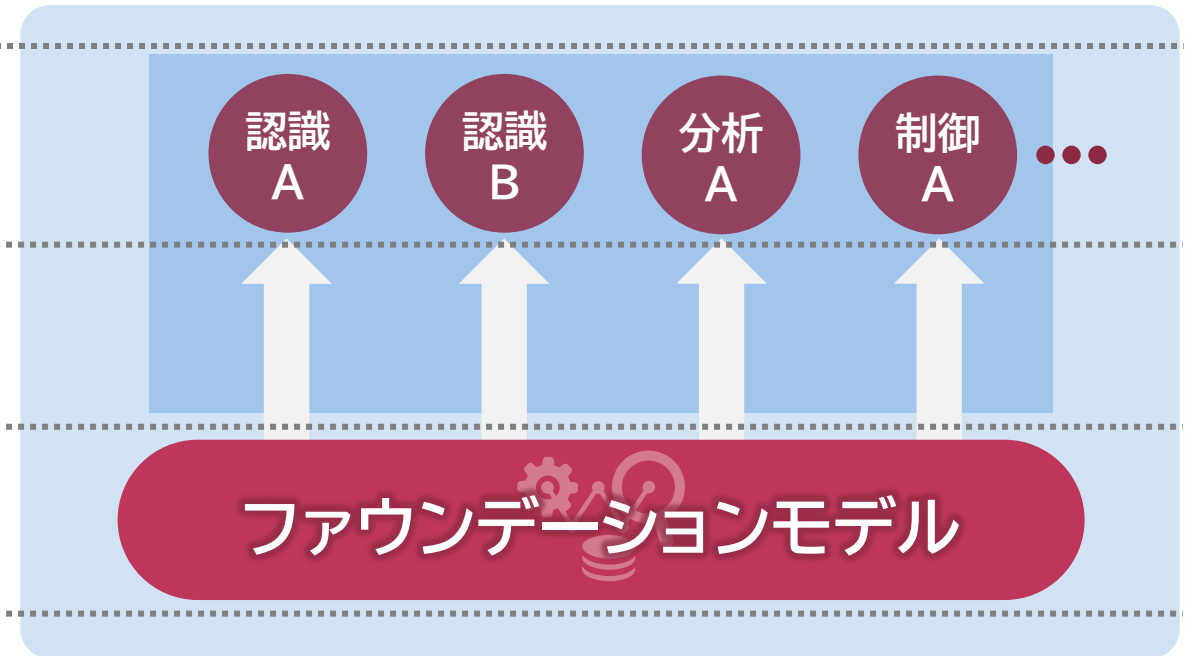
インターネット上に多様なサービスが創出



新規サービスの創出コストが小

ファウンデーションモデルの登場

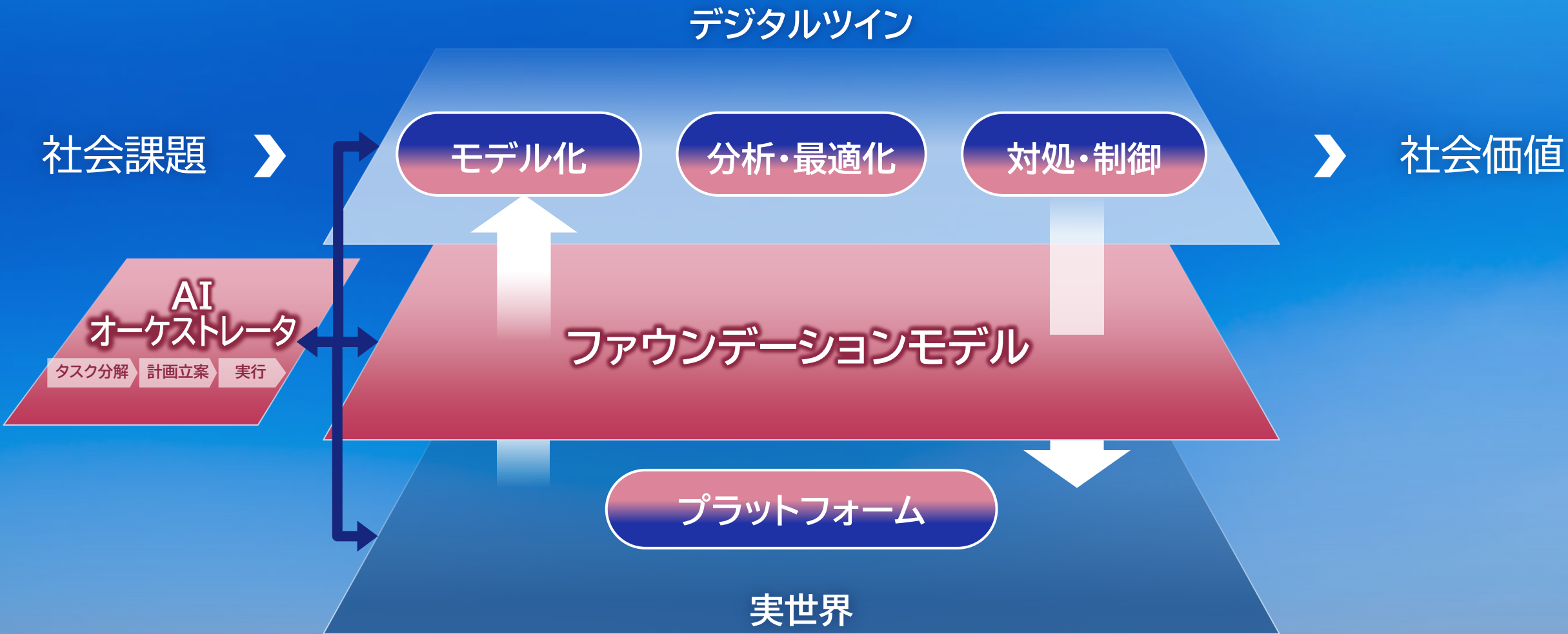
多様なAIを容易に創出



ファウンデーションモデルから容易に構築可能

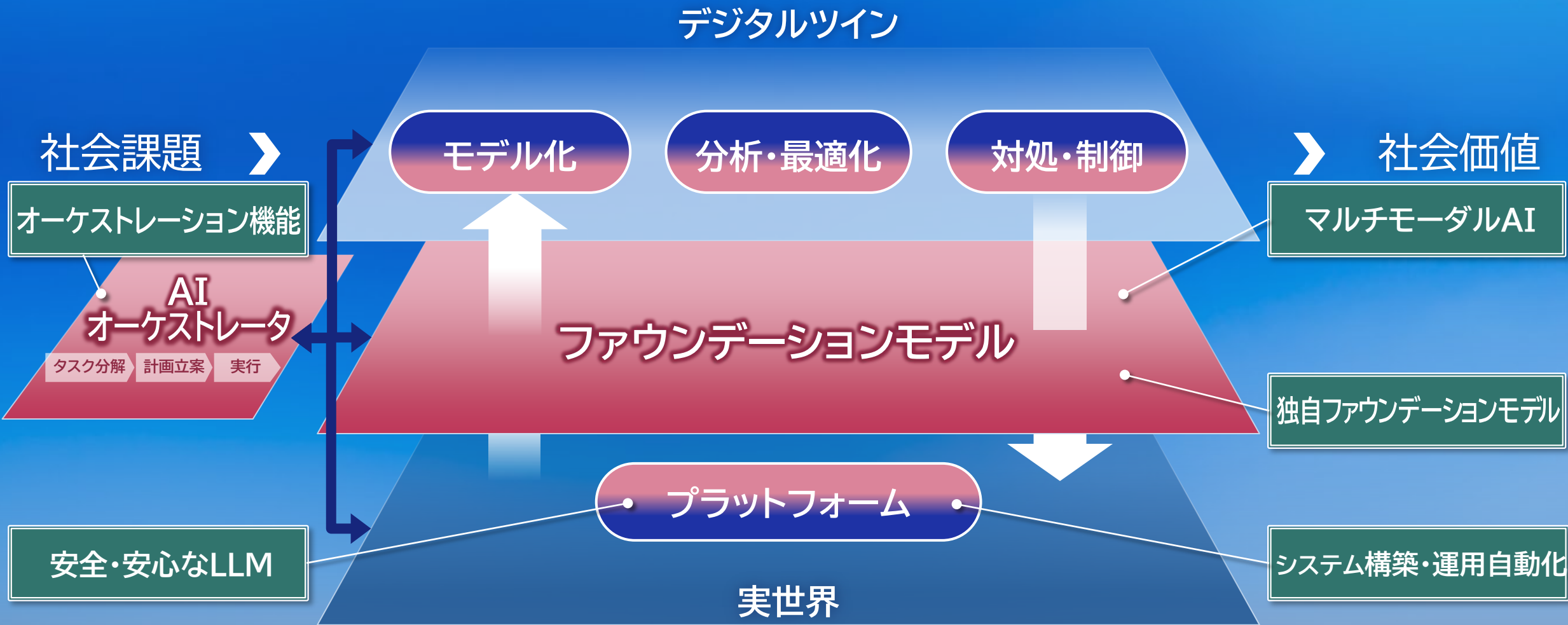
AIオーケストレーション

システムの高度化・自動化と各種AIとの統合による多様なビジネス創出



AIオーケストレーション

システムの高度化・自動化と各種AIとの統合による多様なビジネス創出



スケーラブルなファウンデーションモデル

独自ファウンデーションモデル

マルチモーダルAI

安全・安心なLLM

構築・運用自動化

大規模言語モデルの高度化

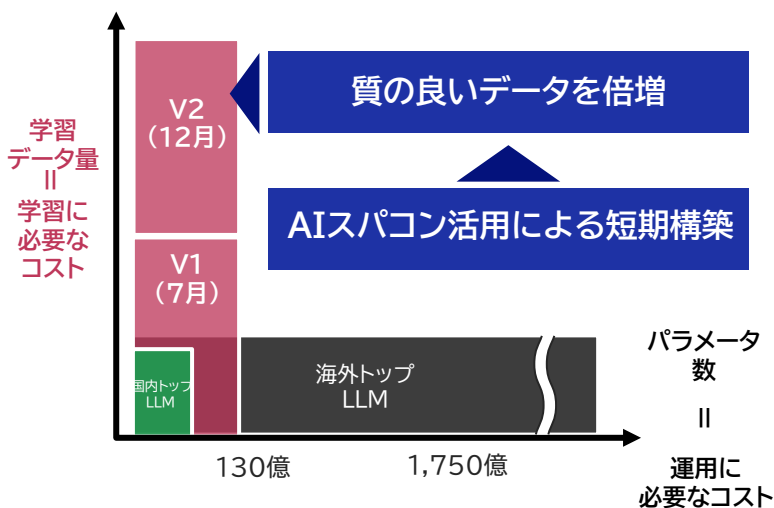
13B LLMの強化 + 長文プロンプト対応

製品化予定

- 13B LLMの強化 : 質の良いデータを整備することで、軽量ながら世界トップクラスの日本語能力を堅持
- 長文プロンプト対応 : 「書籍まるごと」の処理も可能な長文処理能力(他社比 最大150倍)

継続的なLLM強化

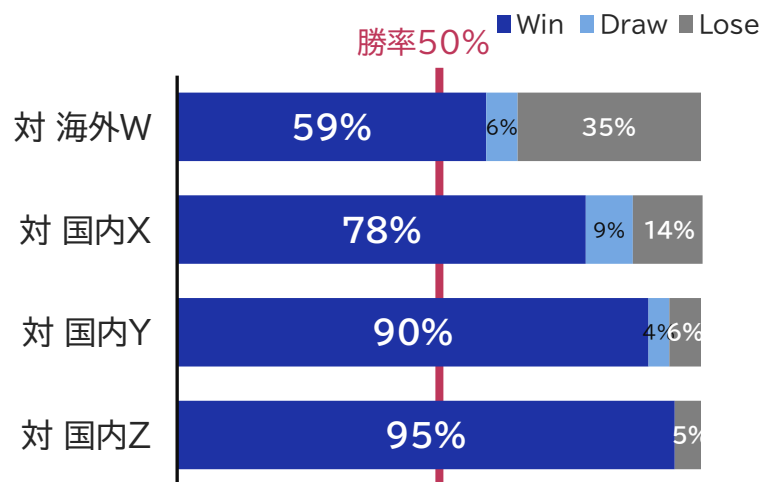
LLM 性能 = 「学習データ量」×「パラメータ数 (モデル規模)」 (面積)



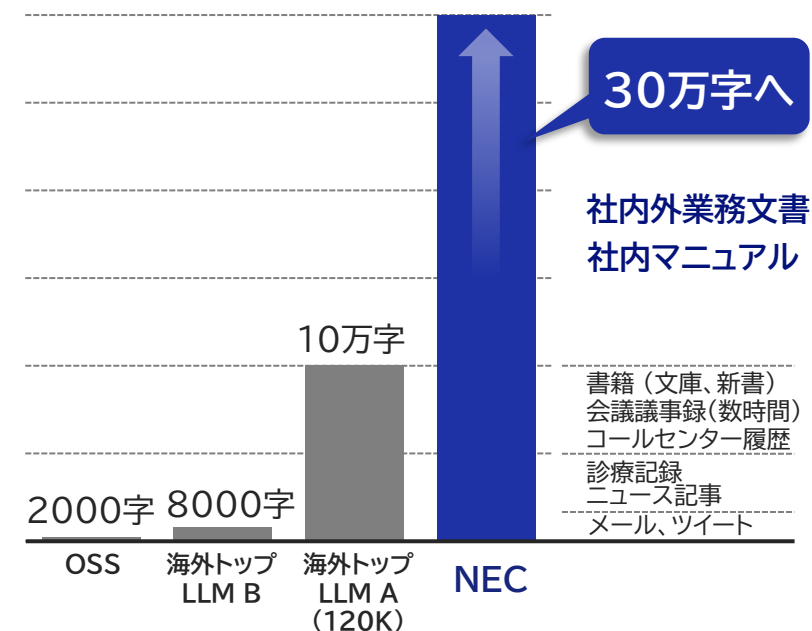
世界トップクラスの日本語処理能力

全ての他社LLMを上回る

日本語対話能力の比較評価 (Rakuda)



他社比 最大150倍の長文処理能力



大規模言語モデルの拡張

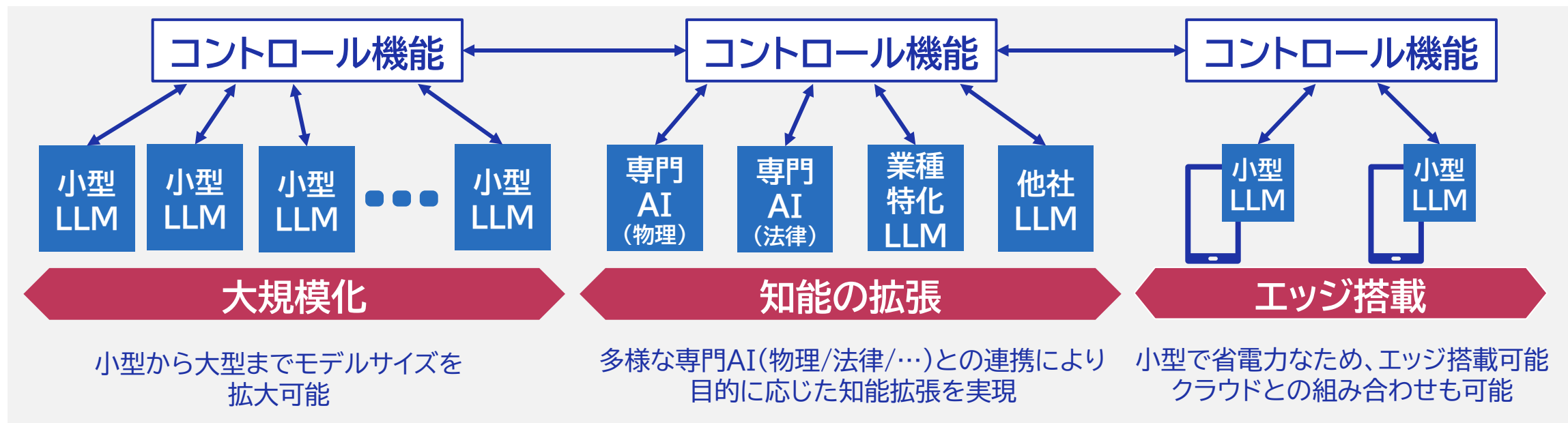
大規模言語モデルと多様なAIモデルの柔軟な連携

R&D

入力データやタスクに応じて柔軟にモデルを組み合わせ、新たなAIを創り出す「新アーキテクチャ」を開発中

- 小型モデルを組み合わせることで、リニアに規模や知能を拡張可能
- 多数のエッジにLLMが組込まれる世界に向けて、省電力化によるエッジ搭載やクラウドとの組合せによる分散配置・連携

※100Bクラスの大規模モデルを開発中



LLMとマルチモーダルAIの融合

独自ファウンデーションモデル

マルチモーダルAI

安全・安心なLLM

構築・運用自動化

映像×LLM

R&D

映像認識技術とLLMによる実世界の把握/文章化

実世界の動画を与えられると、それを詳細に説明する文章を自動で作成。NECの強みは、膨大な数の映像認識AI(映像群⇒文字化)。さらにそれらの文字群を、LLMにより意味のある情報に変換し文章化

画像・位置情報×LLM

R&D

災害対策ソリューション

NECの類似性判定技術と位置推定技術により、続々と提供される膨大な画像から被災状況と位置を番地レベルで特定。LLMとの融合により、言葉での被災規模や状況の整理を実現し、初動を迅速化



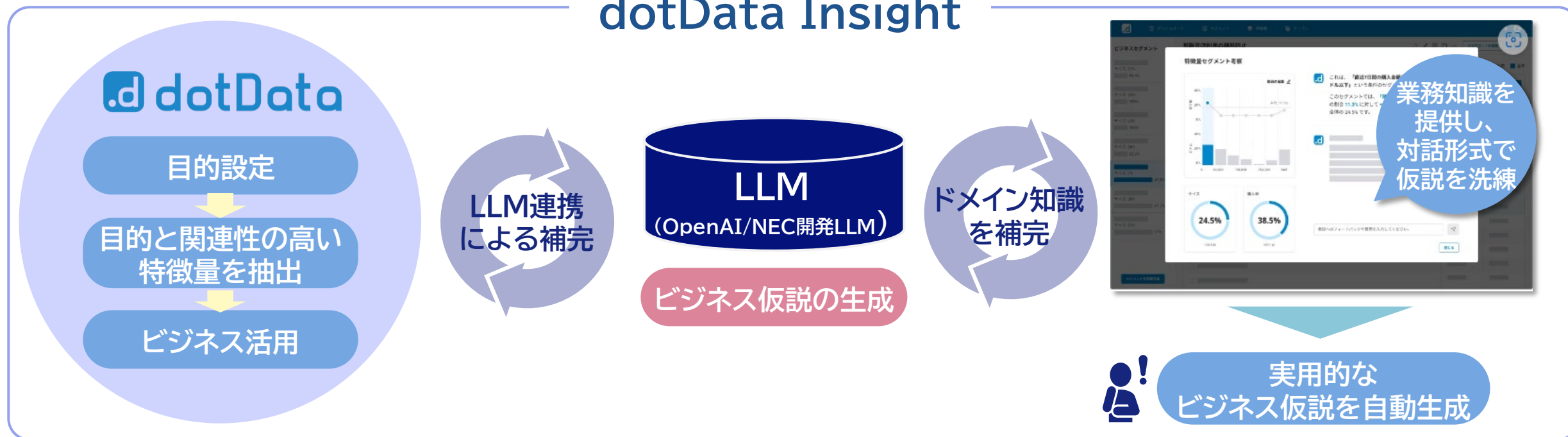
大規模言語モデルの応用

データドリブンDXソリューション「dotData Insight」

製品

- データ分析の専門家でない業務部門が、“ビジネスインサイト”を自動で導出可能
- LLMに自社データを追加学習させることで、自社に特化した回答を生成（2024年初頭に製品提供開始予定）

dotData Insight



2023年12月6日発表、2024年初頭に製品提供開始予定



ことばにより未来をしめし、「こと」が「みる」

cotomi

[コトミ]

NEC Generative AI is Everywhere



個社対応に加え、業種・業務特化モデルをOne to Manyで展開する「ソリューション展開」、そして「パートナーとの提携」と順次ビジネスを拡大



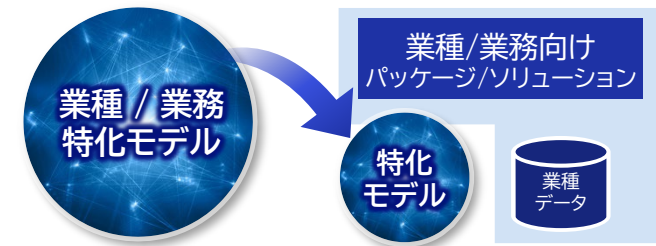
パートナーとの提携

パートナー企業が、NEC開発の生成AI「cotomi」を活用したビジネスを展開



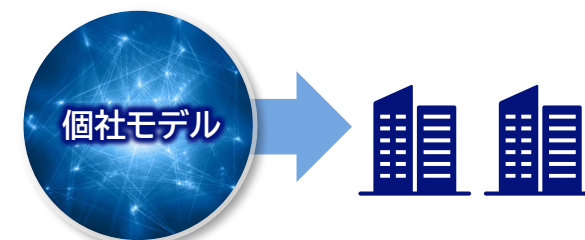
ソリューション展開

業種・業務特化モデルを整備し、業務パッケージ/ソリューションに組み込む



個別SI

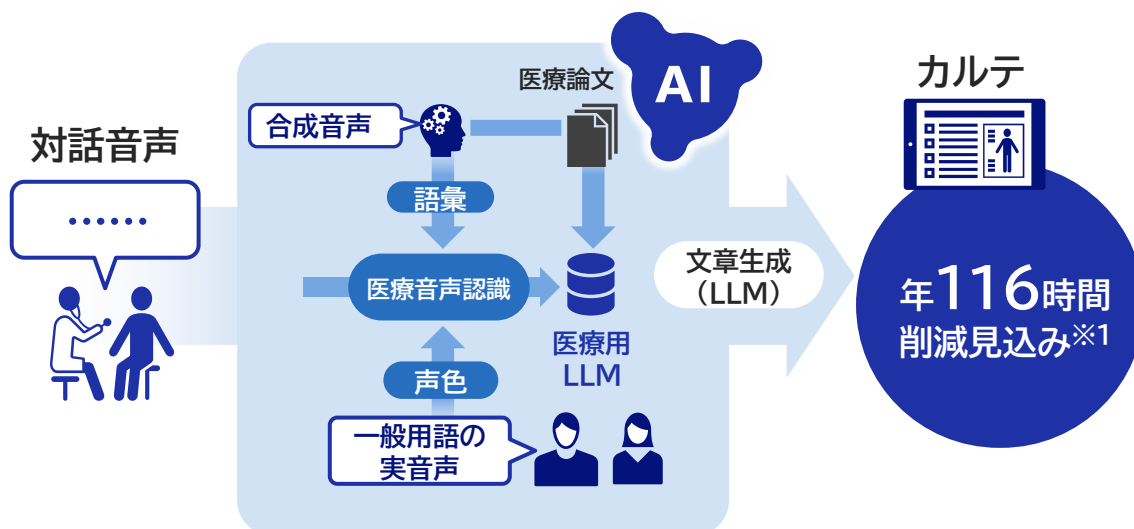
特定顧客を対象に生成AI環境を提供



電子カルテ/医療文書作成をLLMで支援することで 医療文書の作成時間を半減し、業務効率化の可能性を確認

電子カルテの自動作成

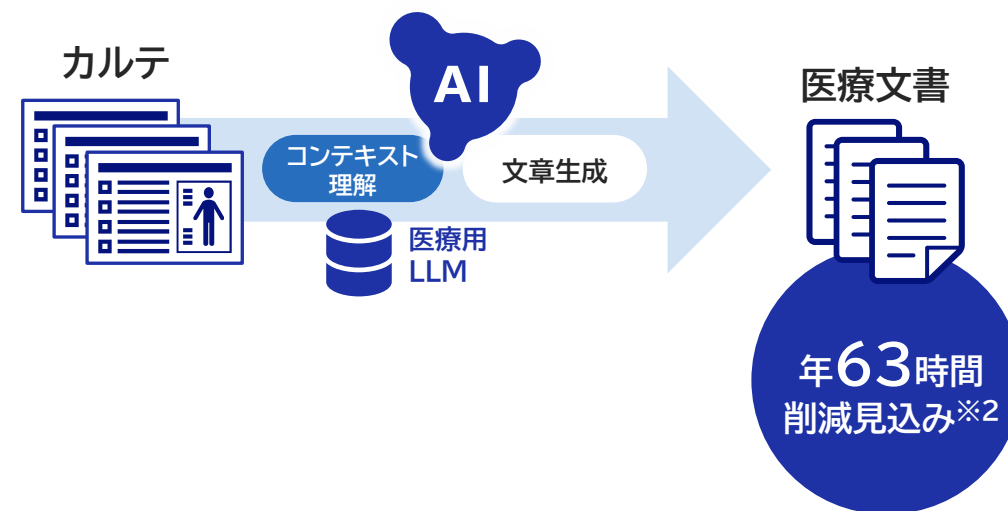
医療用語を学習したLLMにより、
カルテの作成を自動化



※1 現場観察に基づく推論値

医療文書の自動作成

医療用語や治療経過を理解し、カルテを要約
医師によるカルテの読み返しを不要に



※2 東北大学病院医師10名による評価結果



Point

医師の記録業務負荷削減。診療に専念できる環境構築を目指す

金融、自治体、製造業など

様々なお客様と業種特化LLMを共創

三井住友海上火災保険株式会社 様



2023年12月14日
広報発表



金融業界向け
特化モデル

商品・事務マニュアルを搭載した照会応答機能を
開発。専門知識を必要とする商品規定や事務
処理ルール照会といった内務的な業務を効率化。

相模原市 様



2023年10月20日
広報発表

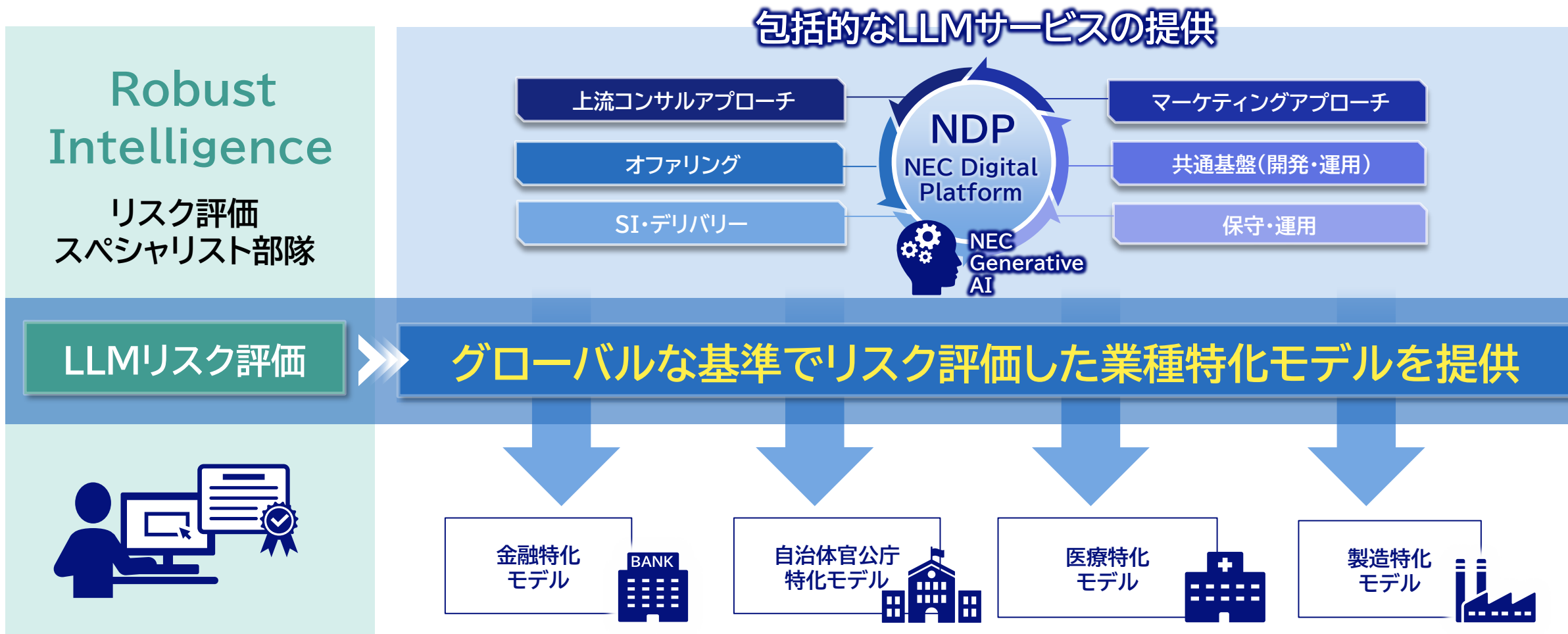


自治体向け
特化モデル

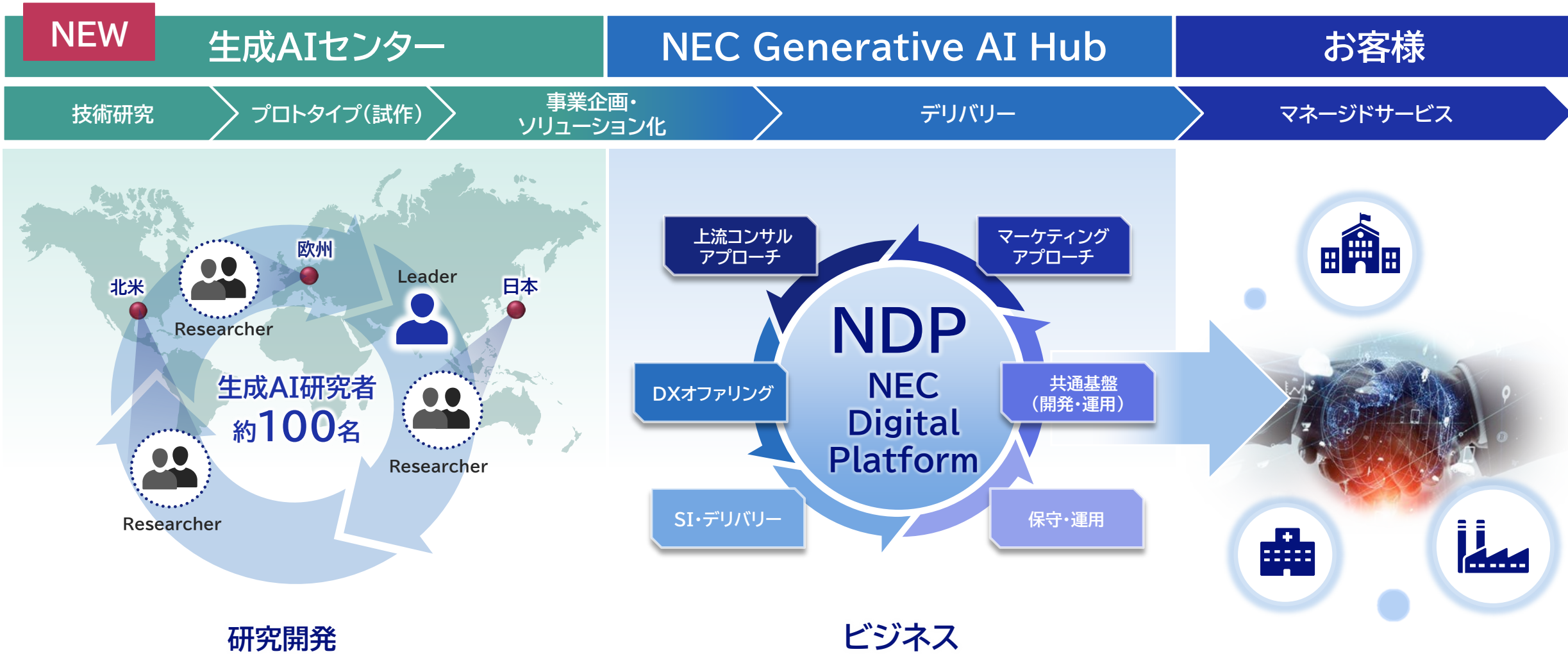
生成AI活用に向けた共同検証を開始。
相模原市様の保有データを学習し、
NEC開発のLLMで業務効率化の検証を推進。

お客様に安全・安心なLLMを提供するために

Robust Intelligence社と連携し、LLMリスク評価プロジェクトを推進中



研究開発とビジネスのシームレスな連携により、生成AIの研究成果の製品化を加速



研究開発とビジネスのシームレスな連携により
スピーディーで最適な戦略パートナーとして、
社会とお客様のDXを支援していきます。

研究開発

ハイレベルな
先端技術の創出

DX

ビジネス

お客様のニーズを
反映し
素早い製品化



新たな成長事業の創出

NECの事業イノベーションプロセス

事業創出の入口・出口拡大に向けた各種施策を整備するとともに
体系化された新事業創出プロセスを実践



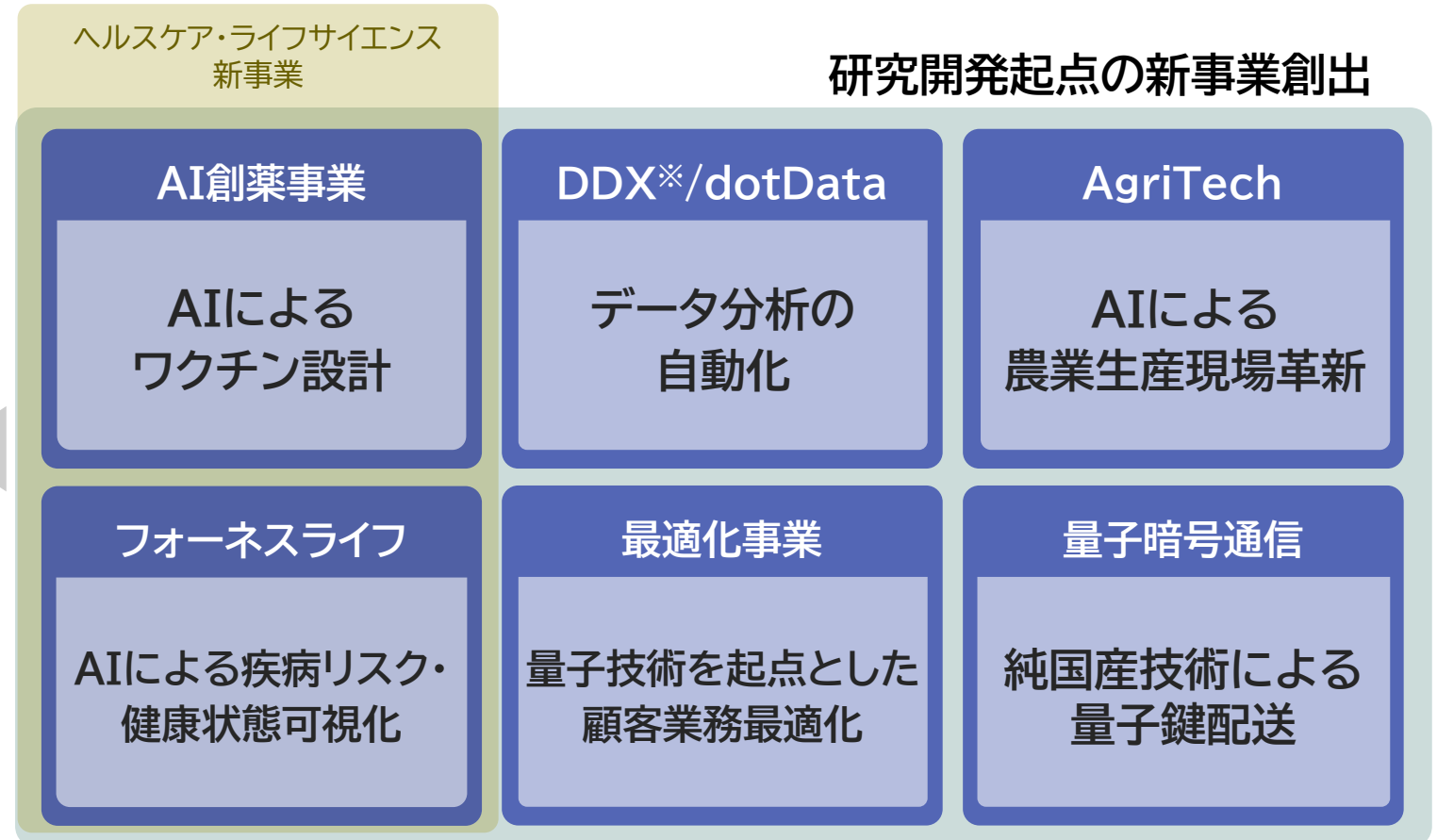
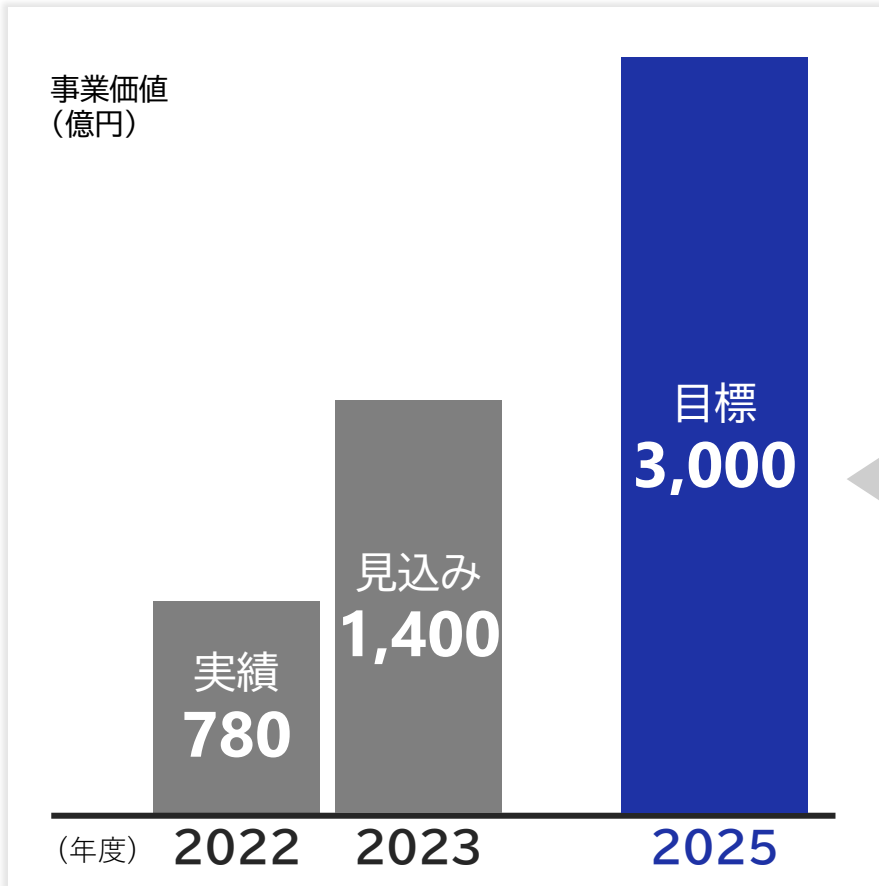
NECが
業界をリードして
イノベーションを
成功させてきた
4つの鍵の解説と
事例紹介を1冊に集約



2025年度 3,000億円の事業価値創出へ

事業価値創出の80%にAI技術成果が貢献

ヘルスケア・ライフサイエンス領域で新事業開発が加速、データドリブンDX事業は高成長率を維持



・ 推進している複数の事業開発プロジェクトの事業価値の合計値
 ・ 事業価値評価の手法としてプロジェクトの特性に応じてDCF法や類似企業法(マルチプル)など最適な評価手法を選択

※ DDX:データドリブンDX事業

次の事業価値を生み出す新事業の育成

データドリブンDX事業： 直近5年間 CAGR 98%で成長、今後も50%以上の成長見込み
 量子コンピューティング： 業務最適化サービス事業に進化、事業支援体制を倍増

データドリブンDX事業

- 成長率:CAGR98%@ 2018-22(実績)→57%@ 2023-28(見込み)
- ロードマップ策定、予測分析、人材育成等のサービス受注が好調
- データドリブンDXの業種別テンプレートの整備／拡充、PoC開始

最適化事業（量子コンピューティング技術）

- NECプラットフォームズ4工場に生産計画立案システムを本格導入、設備稼働率15%向上・生産計画立案工数90%削減を実現
- Gurobi Optimization社とSIパートナーシップを契約
- 業務最適化支援体制を倍増し、顧客のDX推進全体を支援

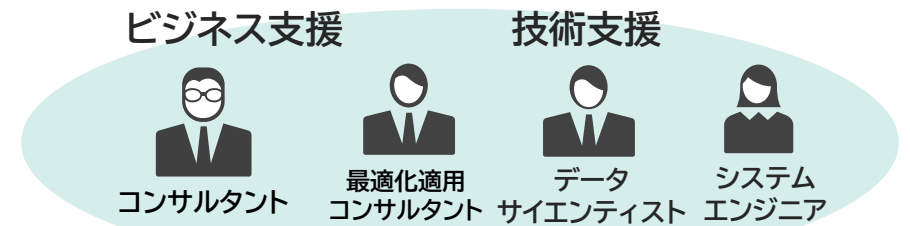
dotData Insight

2023年12月6日発表



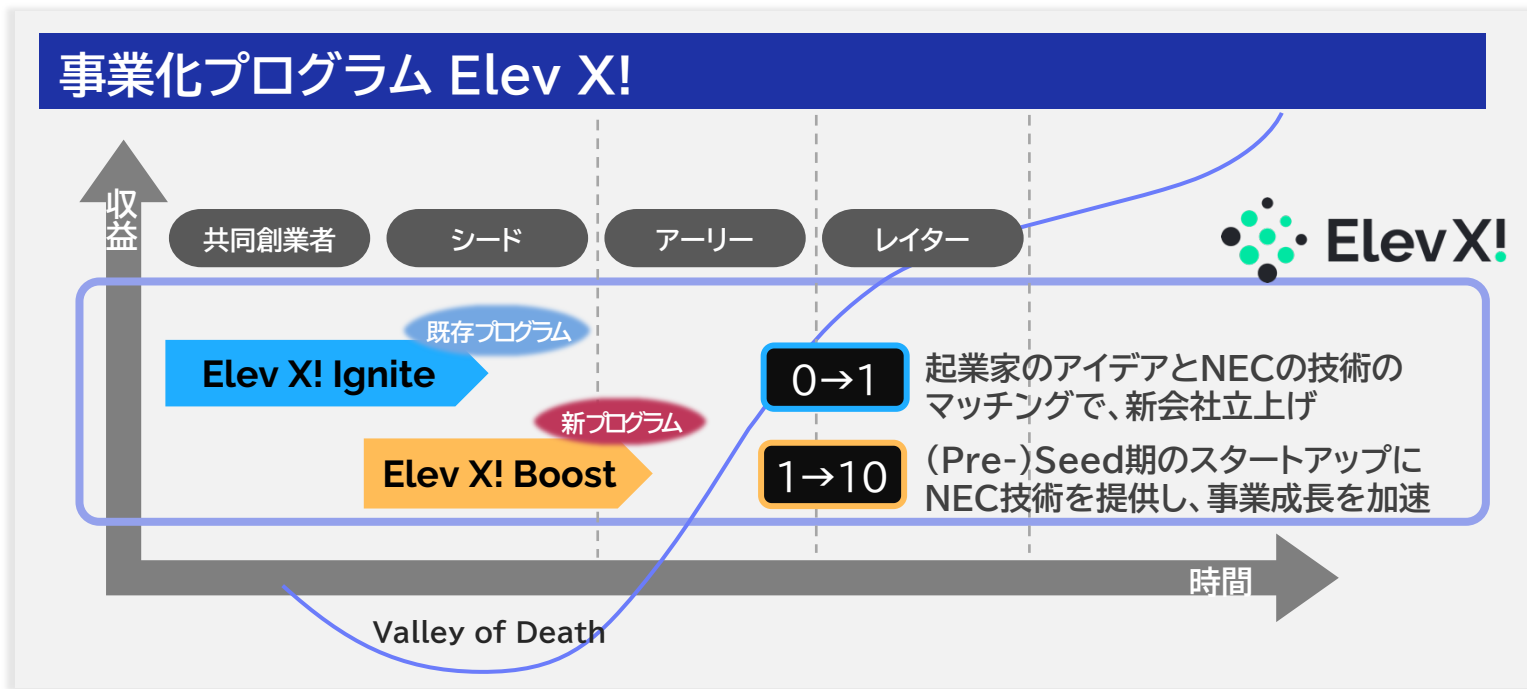
生成AIと特微量がビジネスアナリティクスを変革

課題の明確化から導入まで



NEC X： NEC知財をベースに北米市場で事業化

従来の「ゼロイチ型支援」に加え、起業済スタートアップを成長させる新プログラム「Boost」を開始
有望スタートアップの参加を呼び込み事業開発と成長を加速（2021年以降 10件のローンチに成功）



5周年イベント開催(MIT ILP共催 9/14)

投資家・起業家など250名以上が参加、
新たな投資・プログラムへの参加契機に



Key Note(松本CEO)

MIT教授陣によるKey Note



パネルディスカッション

会場の様子

事業化した主なスタートアップ



2018 2020 2021 2022 2023

BIRD INITIATIVE : 共創型R&D事業

大企業の技術・アセット・人材と、社外の資金・人材・先端ITを掛け合わせイノベーションを創出
イノベーションパートナーとして伴走し、応用研究から事業ローンチまで一貫してサービス提供

仕組みづくり

イノベーション・グランドデザイン

プロセス・組織

人材開発

出口戦略



個別テーマの事業開発

インキュベーション・プログラム

ビジネス

テクノロジー

知財

スタートアップスタジオ・プログラム

経営

ファイナンス

デザイン

実績

2023年4月 DRONE FUND社が参画

新事業コンサルティング累積 **63件** ←34件

2023年カーブアウト実績

2社 (2023~)



3社 2億円調達
ドローン/自動運転
運航管理

自動交渉AI×ドローン



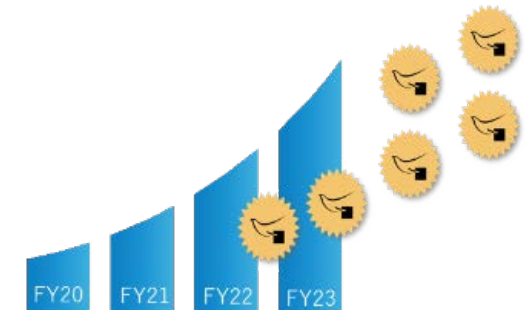
BitQuark

5社 2.3億円調達予定
物流業最適化
(CN※対応/LLM実装)

プロセスシミュレータ

目標

コンサルティング強化、生成AIの
エコシステム構築を推進し、
2025年までのカーブアウト目標 **6社**



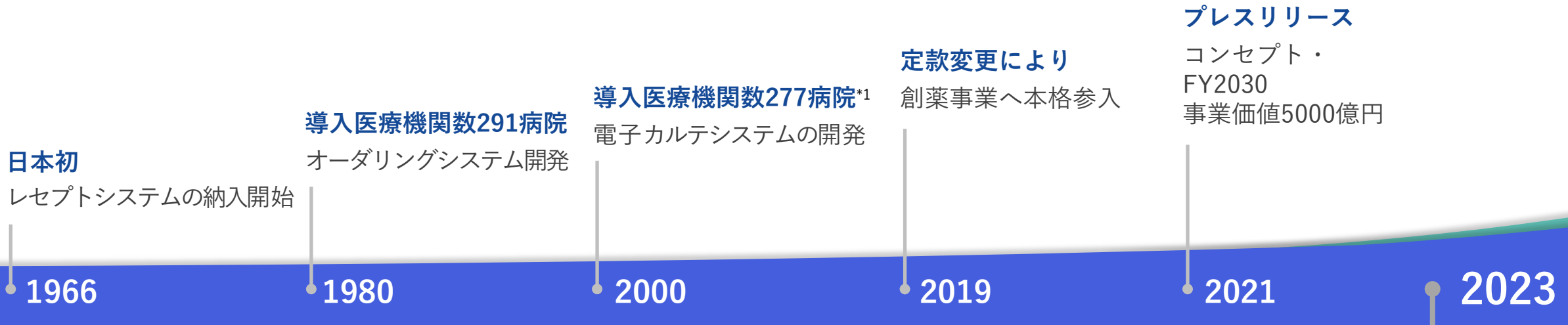


ヘルスケア・ライフサイエンス事業成長に向けて

NECのヘルスケア・ライフサイエンス事業の歩み

50年以上の経験と実績

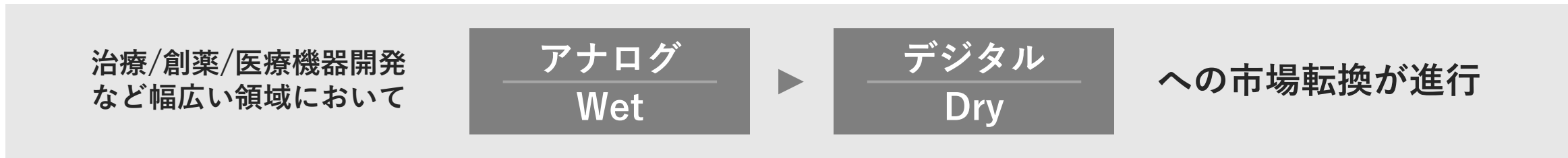
ヘルスケア・ライフサイエンス領域の技術開発に注力し、人々の安心な暮らしに貢献してきた



NECグループに点在している関連事業を
「ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門」に結集

*1 2020年度病院情報システム導入施設一覧（「月刊新医療」調査）

NECが注力する領域と市場性

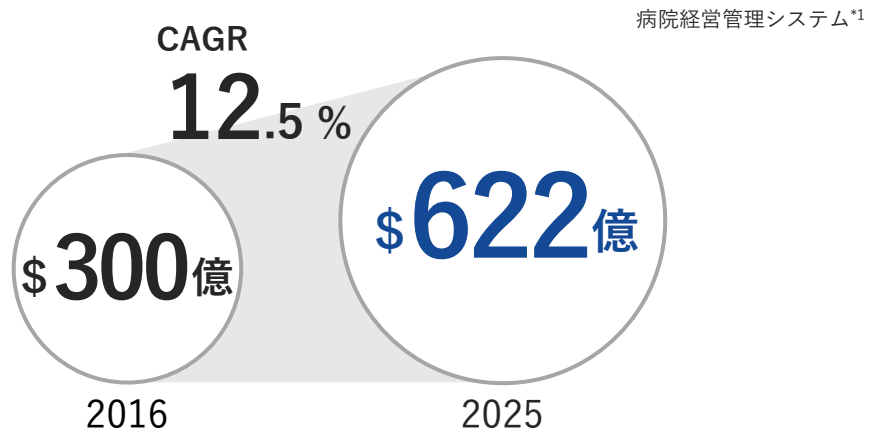


デジタル化による 医療経済性向上



データに基づく運営効率化と意思決定

病院DX

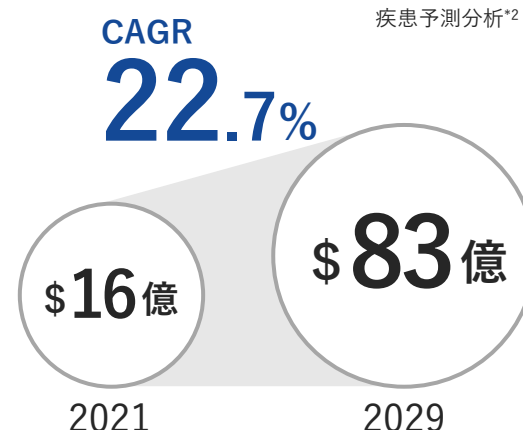


幅広い健康データとAIによる 個別化医療拡大

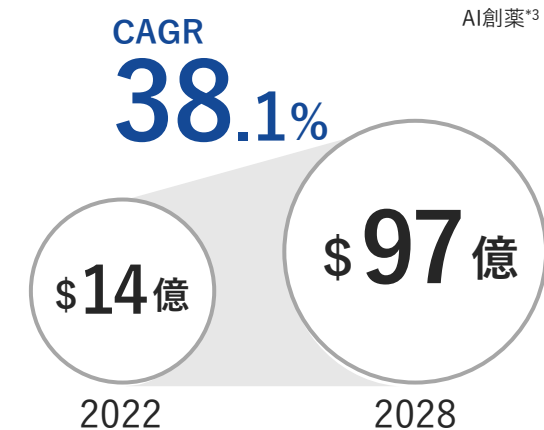


人はみんな違う 疾病もみんな違う

検査・健康増進サービス

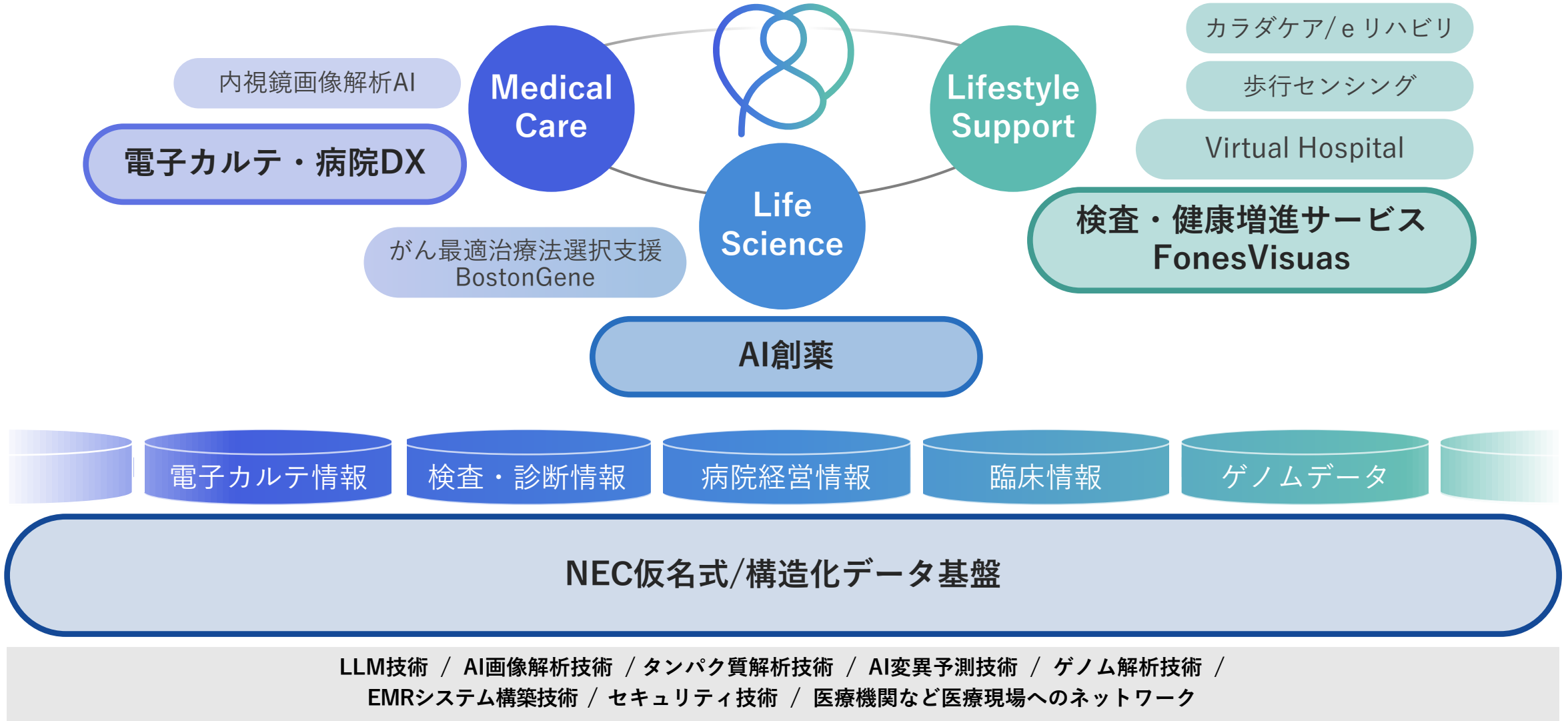


AI創薬



*1 Arizton Advisory and Intelligence, Hospital Management Solutions Market - Global Outlook & Forecast 2022-2027 *2 BIS Research, Global Neoantigen Cancer Vaccine Market *3 Grand View Research, Global Predictive Disease Analytics Market Size study & Forecast, by Component by Deployment, by End User and Regional Analysis, 2022-2029

NECのヘルスケア・ライフサイエンス事業概要



HLS事業全体 売上高・営業利益の成長目標

FY2023→FY2030

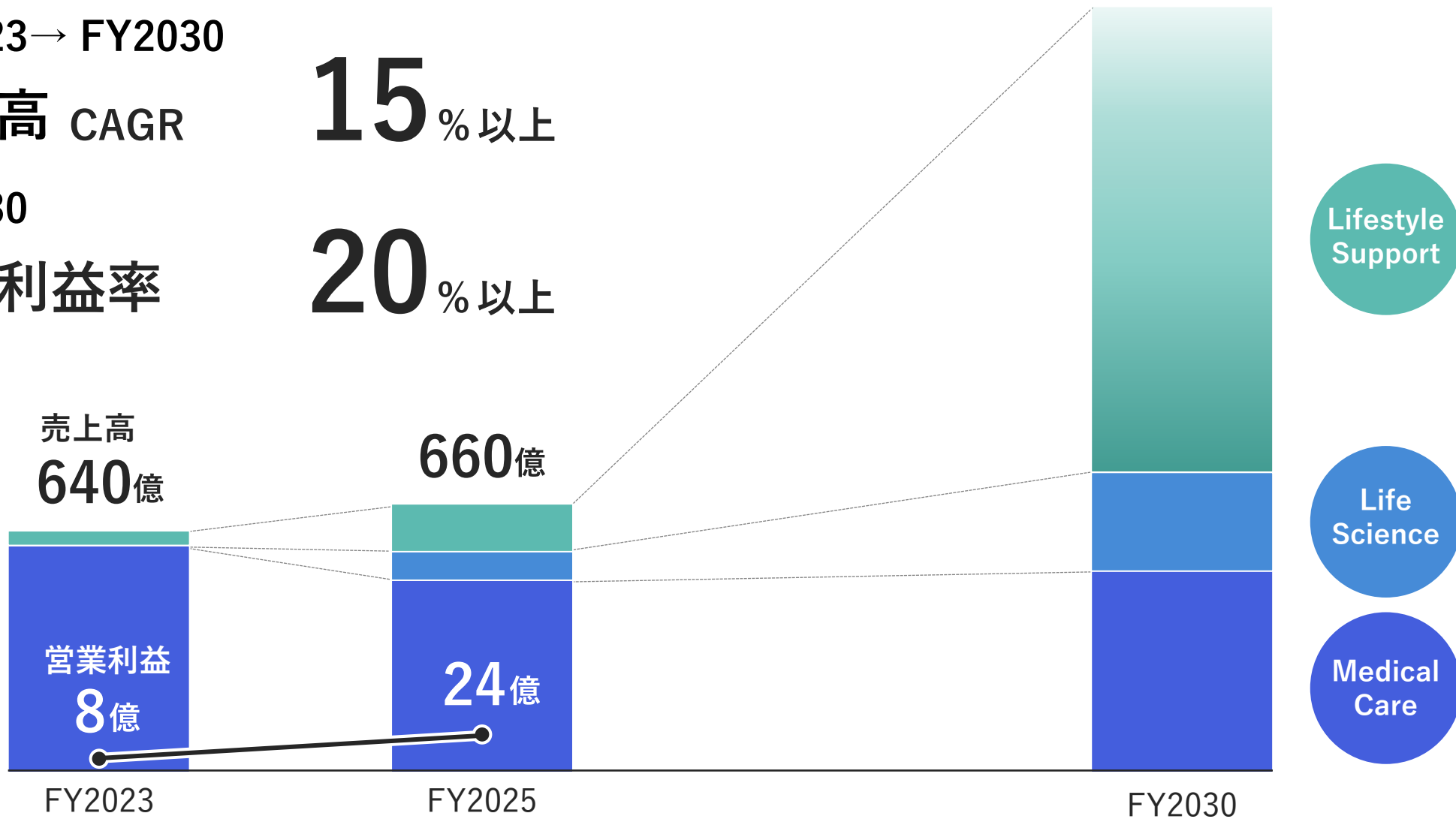
売上高 CAGR

15%以上

FY2030

営業利益率

20%以上





電子カルテ・病院DX

AIで病院経営を効率化、医療品質を向上

ITサービスの導入実績

医事システム

1,400施設

電子カルテ

1,000施設

DXサービス群

120施設

- オンライン診療・カンファレンス支援
- 音声サポート
- デジタル問診
- クラウドセキュア接続

2023年 生成AIを活用した医療文書作成支援PoC完了



電子カルテ・病院DXの事業成長

電子カルテ・医事会計の収益性改善、病院DX売上成長による利益拡大を目指す

FY2023→FY2030

営業利益額

× 2

病院DX

病院の経営効率改善、医療業務の高度化

- 日本の医療DX推進への対応
- 生成AIの活用により医療従事者の働き方改革
- スタートアップとの提携サービスの拡充

電子カルテ・医事会計

安全・安心な医療基盤

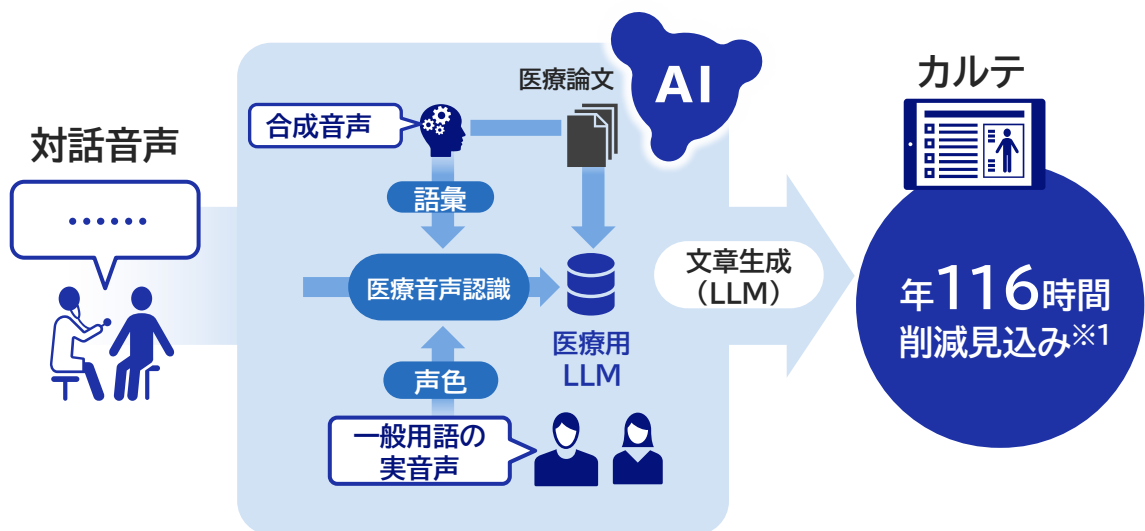
電子カルテ情報の標準化対応

- クラウド化とエンジニアリング部門経営一体化による収益性改善
- データドリブンによるサービス品質向上
- セキュリティ事業の収益化

電子カルテ/医療文書作成をLLMで支援することで 医療文書の作成時間を半減し、業務効率化の可能性を確認

電子カルテの自動作成

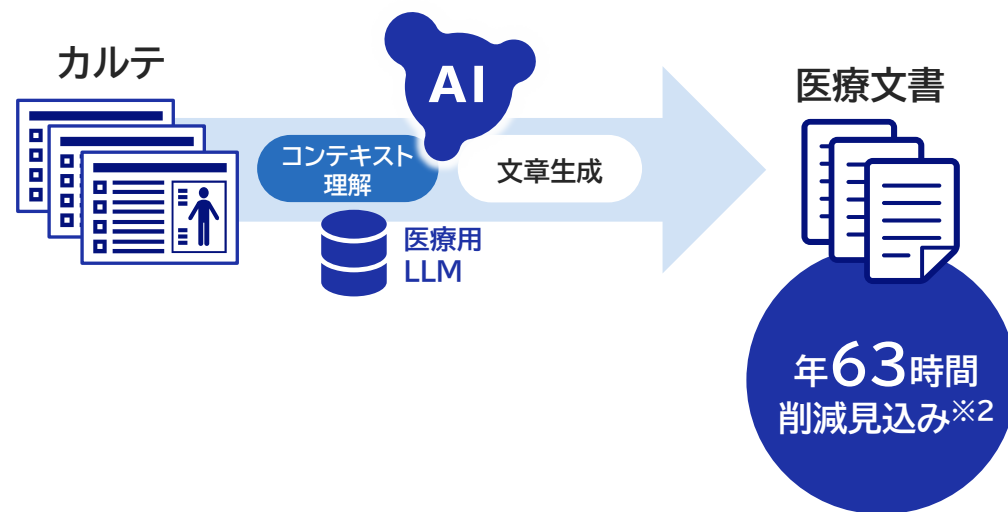
医療用語を学習したLLMにより、カルテの作成を自動化



※1 現場観察に基づく推論値

医療文書の自動作成

医療用語や治療経過を理解し、カルテを要約
医師によるカルテの読み返しを不要に



※2 東北大学病院医師10名による評価結果



Point 医師の記録業務負荷削減。診療に専念できる環境構築を目指す

生成AIを活用した事業化ロードマップ

Medical
Care

NECの技術と事業ノウハウを生かし、持続可能な医療サービスを提供

2024年度 MegaOak に生成AI 実装予定！

Step 1 業務削減

効率化を追求、
医療従事者の働き方改革に貢献

Step 2 経営支援

経営状況を可視化、
病院の収益向上に貢献



健康増進・検査サービス



NECグループが提供するサービス
少量の血液より様々なタンパク質を測定し
健康状態・将来の疾病リスクを可視化する

AIで疾病リスク・健康状態を可視化、生活習慣改善へ

2020年 事業開始

2023年 5年以内の認知症発症リスク予測 検査項目追加

導入実績

測定サービス

国内製薬大手
9社から受注済み

検査・介入サービス

国内

荒尾市と締結

自治体連携

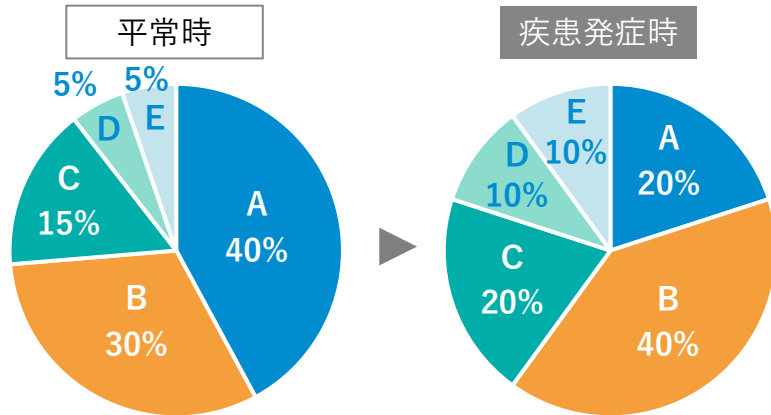
海外

香港受注済み

中東・ASEAN
展開中



フォーネスビジュアスの強み



遺伝子は変わらない、タンパク質は日々変化

SomaLogic
 血中タンパク質測定技術
 7,000 種類のタンパク質を測定可能
 11,000 種類に増加予定

NECグループ
 DX・AI技術
 社会実装力

現在

発症リスクの見える化

- 4年以内の発症リスク
脳卒中、脳梗塞、慢性腎不全、心筋梗塞、心不全
- 5年以内の発症リスク 肺がん
- 20年、5年以内の発症リスク 認知症

23年度以降（研究開発中）

乳がん、食道がん、胃がん
 すい臓がん、大腸がん、前立腺がん 他

将来

50以上の疾病

海外（中東・ASEAN）

最先端の技術で将来の発症リスクを評価
自分の状態をしっかりと見える化

- ライフスタイルの変化とともに
生活習慣病が増加
- 経済施策として
医療ツーリズムに注力
- シンガポール、タイ
- グローバルカンパニーの
充実した現地福利厚生サービス提供



国内 自治体

発症リスクの高い層に集中フォロー
生活習慣の改善に繋げる

- 寿命と健康寿命の差は **約10年**
- 介護保険の **5割は公費負担**
- 要介護度の高い
認知症、脳卒中の重症者 が増加

認知症
医療費・介護費*1
年約 **760**万円/人

脳卒中/脳梗塞
医療費・介護費*1
年約 **880**万円/人

*1 2019年厚生労働公表レポートから調査会社が試算

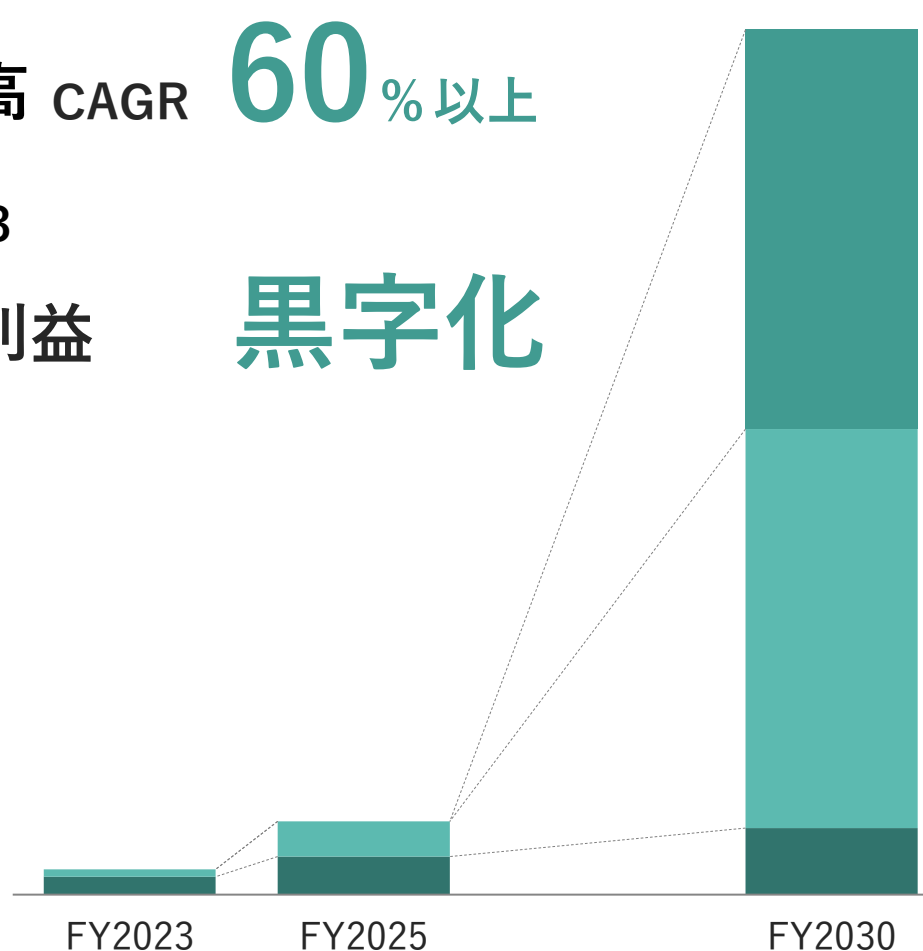
フォーネスビジュアス事業の成長

FY2023→FY2030

売上高 CAGR **60%**以上

FY2023

営業利益 **黒字化**



海外向け検査・介入サービス

現地医療機関等と提携、中東・ASEANへ展開

- 健康意識の高い海外富裕層の需要を取り込む

自治体向け検査・介入サービス

自治体に検査・生活習慣改善サービスを提供

- 住民の健康寿命の延伸、自治体の医療・介護給付費の抑制
- 持続可能な社会へ

現在、熊本県 荒尾市と取組み中複数の自治体と協議進行中

測定サービス

製薬企業・アカデミアから治験・研究目的で受託

- 機器導入の必要なく約7,000種類のタンパク質を一度に測定 (11,000種類に増加予定)
- バイオマーカーの探索を効率化



AIでワクチンを個別化/ユニバーサル化

2022年 日本グループ企業で初めてCEPI*1からグラント獲得

2023年 IT企業で初めてSCARDA*2の公募に採択

2023年 実績

ユニバーサル感染症ワクチン

SCARDA

インフルエンザを対象とした
設計技術開発が公募に採択

長崎大学/SCARDA

熱帯感染症の共同研究を開始

個別化がんワクチン

AACR2023*3/ASCO2023*4

有望な臨床効果と
免疫応答データを
権威ある学会にて発表

*1 CEPI : Coalition for Epidemic Preparedness Innovations (感染症流行対策イノベーション連合) *2 SCARDA : Strategic Center of Biomedical Advanced Vaccine Research and Development for Preparedness and Response (先進的研究開発戦略センター)
*3 AACR : American Association for Cancer Research (米国癌学会) *4 ASCO : American Society of Clinical Oncology (米国臨床腫瘍学会)

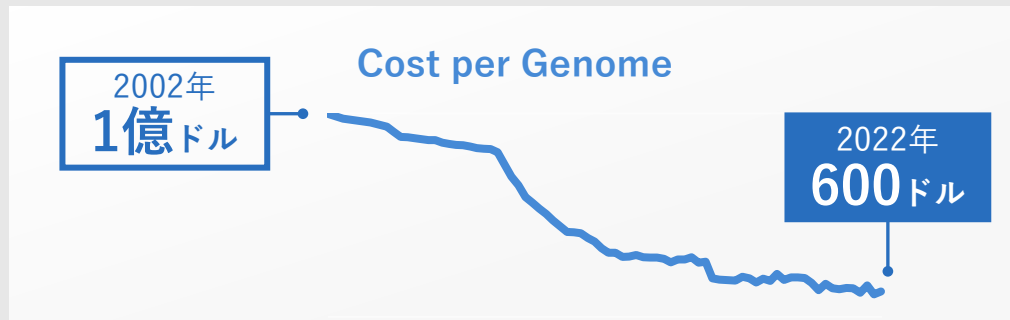


ゲノム情報が入手容易に



次世代シーケンサー(NGS)の登場

- コスト低下



- 多くの機関でゲノム解析可能に

デジタル情報の解析技術が進化

AI技術の高度化

- 2012 Googleがディープラーニングによってコンピュータが猫を認識する
- 2015 TensorFlowリリース
- 2017 AlphaGo プロの囲碁棋士を破る

NECの高いAI技術力



機械学習
難関国際学会*1 論文採択数 **世界企業中 10位**

映像・画像処理
難関国際学会*2 論文採択数 **日本企業中 1位**

NECは個別化がんワクチン開発に取り組むトップランナー
がんワクチン設計において開発したAIを感染症領域にも活用

AI創薬の開発状況

感染症

CEPI

ユニバーサルワクチン
ベータコロナ
日本グループ企業初 グラント獲得

SHIONOGI

B型肝炎

NEW

SCARDA
長崎大学

ユニバーサルワクチン
デング熱（ほか、多数）

NEW

SCARDA

ユニバーサルワクチン
インフルエンザ
IT企業で唯一 グラント獲得

がん

TG4050
個別化がんワクチン

Transgene

良好な中間データをASCOで発表



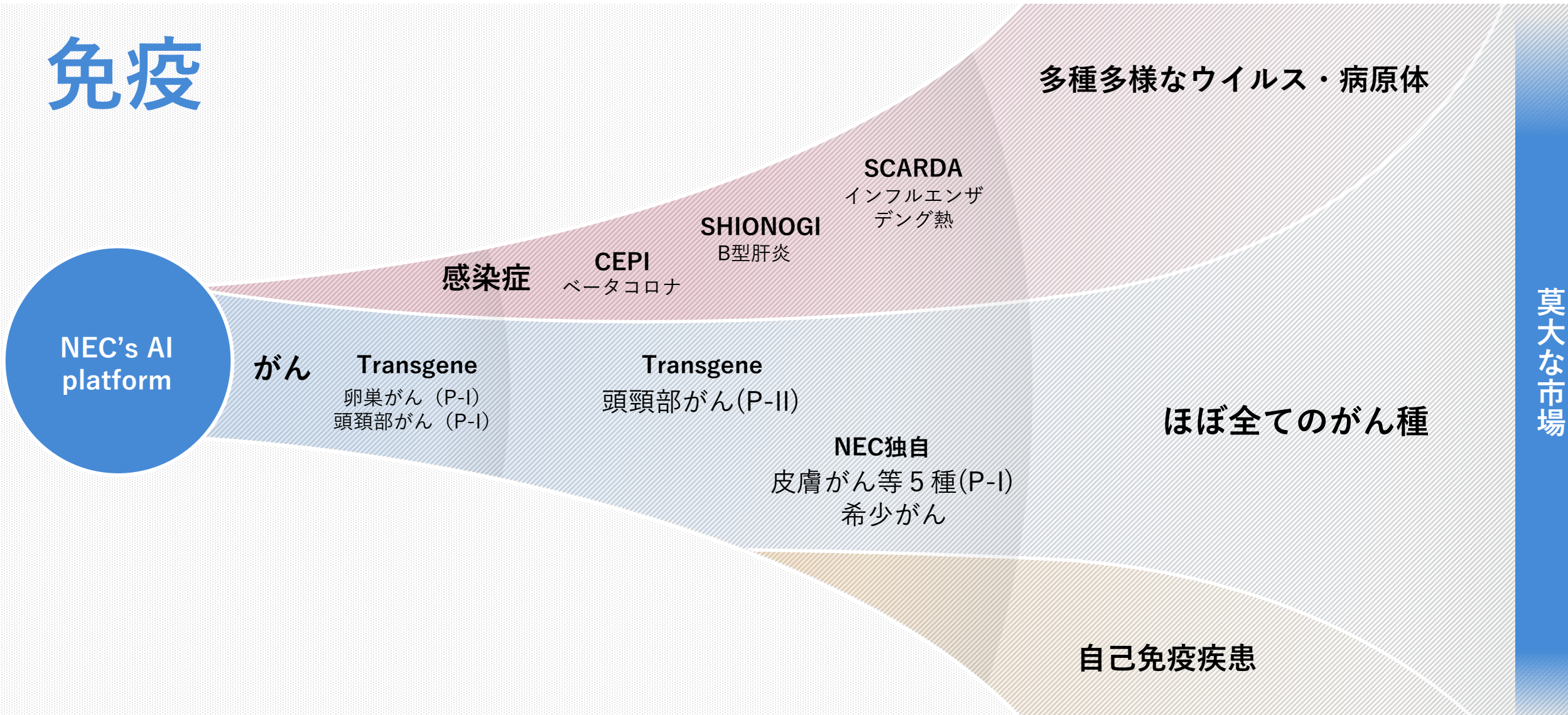
NECVAX NEO 1
個別化がんワクチン

NEC
Oncolmmunity AS

治験実施中



免疫



持続的な事業成長に向けて

データ利活用事業開始

ユーザから集積したデータを仮名化/構造化、利便性と価値を高度化し、製薬企業等へ提供する

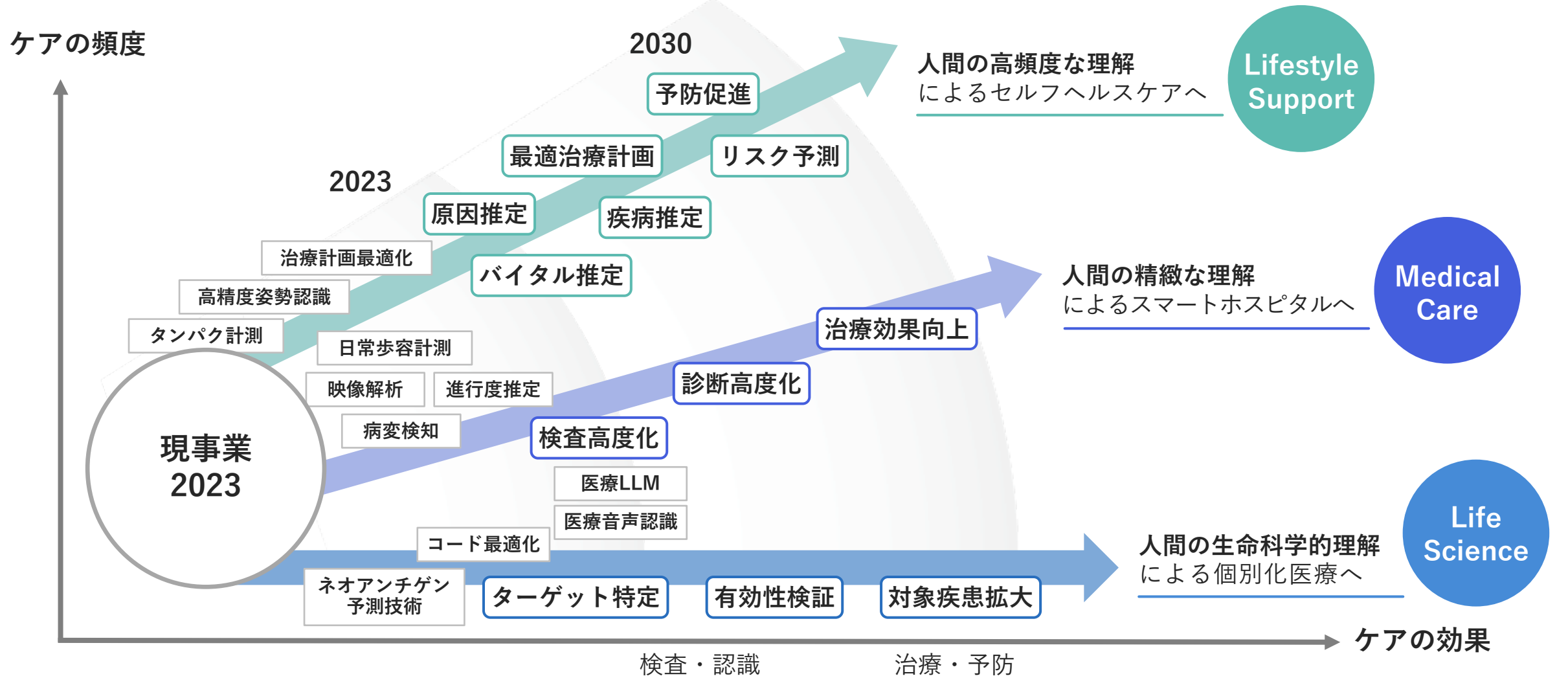


2013年から大阪臨床研究ネットワーク（OCR-net）に
参画、多施設共同臨床研究のシステム開発に貢献した実績

取扱患者データ数 約50万名分から開始

技術ロードマップ

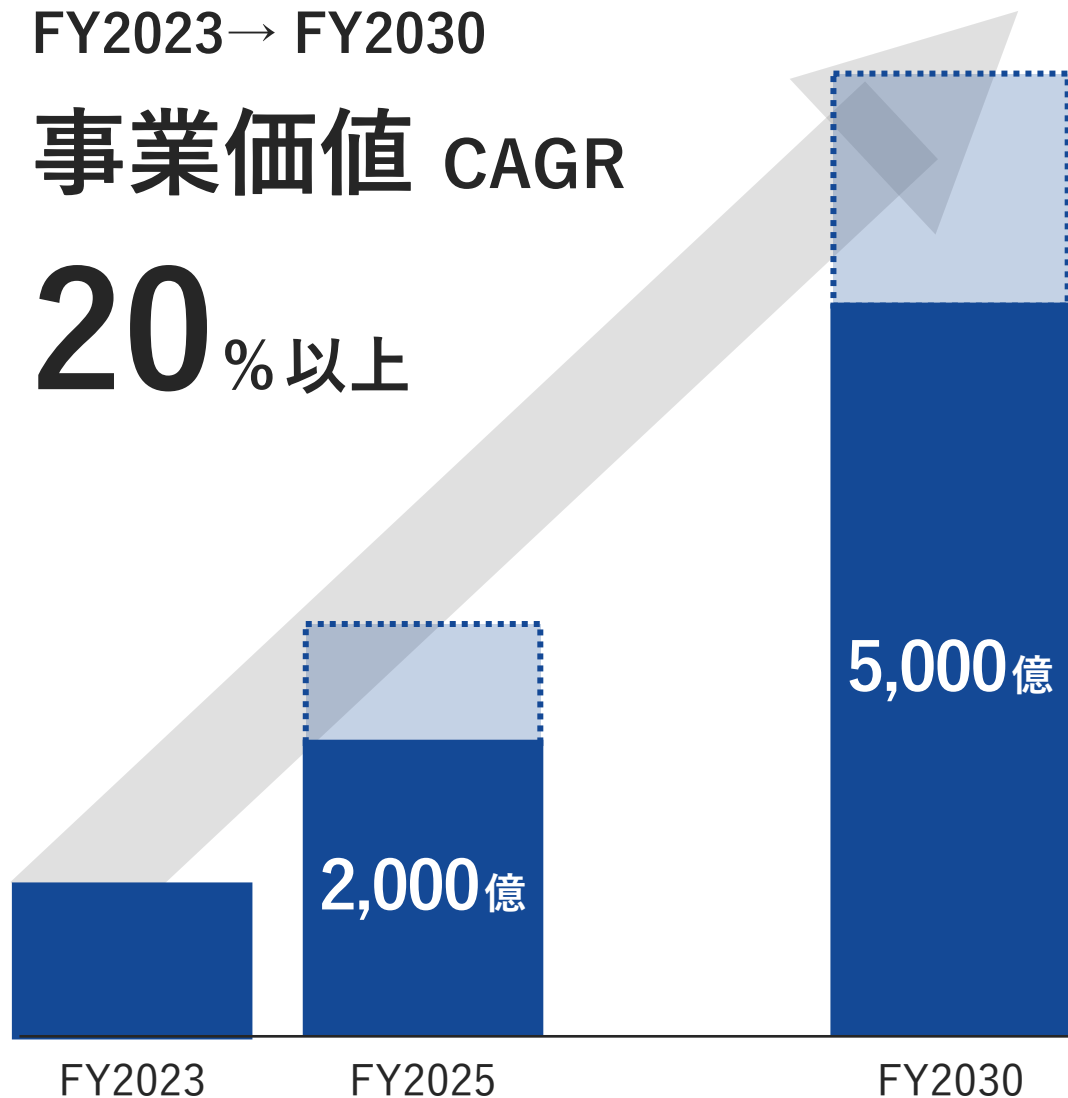
検査・認識から治療・予防へ
デジタルツインの実現、認識系・分析系のAIを強みにR&Dを継続強化



FY2023→FY2030

事業価値 CAGR

20%以上



Be an Essential Company

人々・地域・産業の健康に必要不可欠な存在となり、
インパクトを与える技術・サービスを革新しつづける

あなたを知り、あなたらしく選ぶ

live as you



Truly Open, Truly Trusted -This is NEC.

All Share Benefitの世界を実現する

Truly Open

オープンイノベーションを加速させる
オープンなエコシステムをリードする

Truly Trusted

ミッションクリティカルを支える力
技術を正しいことに使う姿勢

\Orchestrating a brighter world

NEC

注意事項

<将来予想に関する注意>

本資料に記載されているNECグループに関する業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断および前提は、その性質上、主観的かつ不確実です。また、かかる将来に関する記述はそのとおりに実現するという保証はなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 国内外の経済動向、為替変動、金利変動および市況変動
- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）その他の感染症の流行による悪影響
- ・ 中期経営計画を達成できない可能性
- ・ 売上および収益の期間毎の変動
- ・ 企業買収・事業撤退等が期待した利益をもたらさない可能性
- ・ 戦略的パートナーとの提携関係の悪化、または戦略的パートナーの製品・サービスに関連する問題が生じる可能性
- ・ 海外事業の拡大が奏功しない可能性
- ・ 技術革新への対応または新技術の商品化ができない可能性
- ・ 競争の激化にさらされる可能性
- ・ 特定の主要顧客への依存
- ・ 新規事業の成否
- ・ 製品・サービスの欠陥による責任追及または不採算プロジェクトの発生
- ・ 供給の遅延等による調達資材等の不足または調達コストの増加
- ・ 事業に必要な知的財産権等の取得の成否およびその保護が不十分である可能性
- ・ 第三者からのライセンスが取得または継続できなくなる可能性
- ・ 顧客の財務上の問題に伴い負担する顧客の信用リスクの顕在化
- ・ 優秀な人材を確保できない可能性
- ・ 資金調達力が悪化する可能性
- ・ 内部統制、法的手続、法的規制、環境規制、情報管理等に関連して行政処分や司法処分を受ける可能性または多額の費用、損害等が発生する可能性
- ・ 実効税率もしくは繰延税金資産に変更が生じる可能性または不利益な税務調査を受ける可能性
- ・ コーポレート・ガバナンスおよび企業の社会的責任に適切に対応できない可能性
- ・ 自然災害、公衆衛生上の問題、武装勢力やテロリストによる攻撃等が発生する可能性
- ・ 退職給付債務にかかる負債および損失等が発生する可能性
- ・ のれんの減損損失が発生する可能性

将来予想に関する記述は、あくまでも本資料の日付における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じ得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、当社がこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

(注) 年度表記について、21年度は2022年3月期、22年度は2023年3月期、23年度は2024年3月期（以降も同様）を表しています。